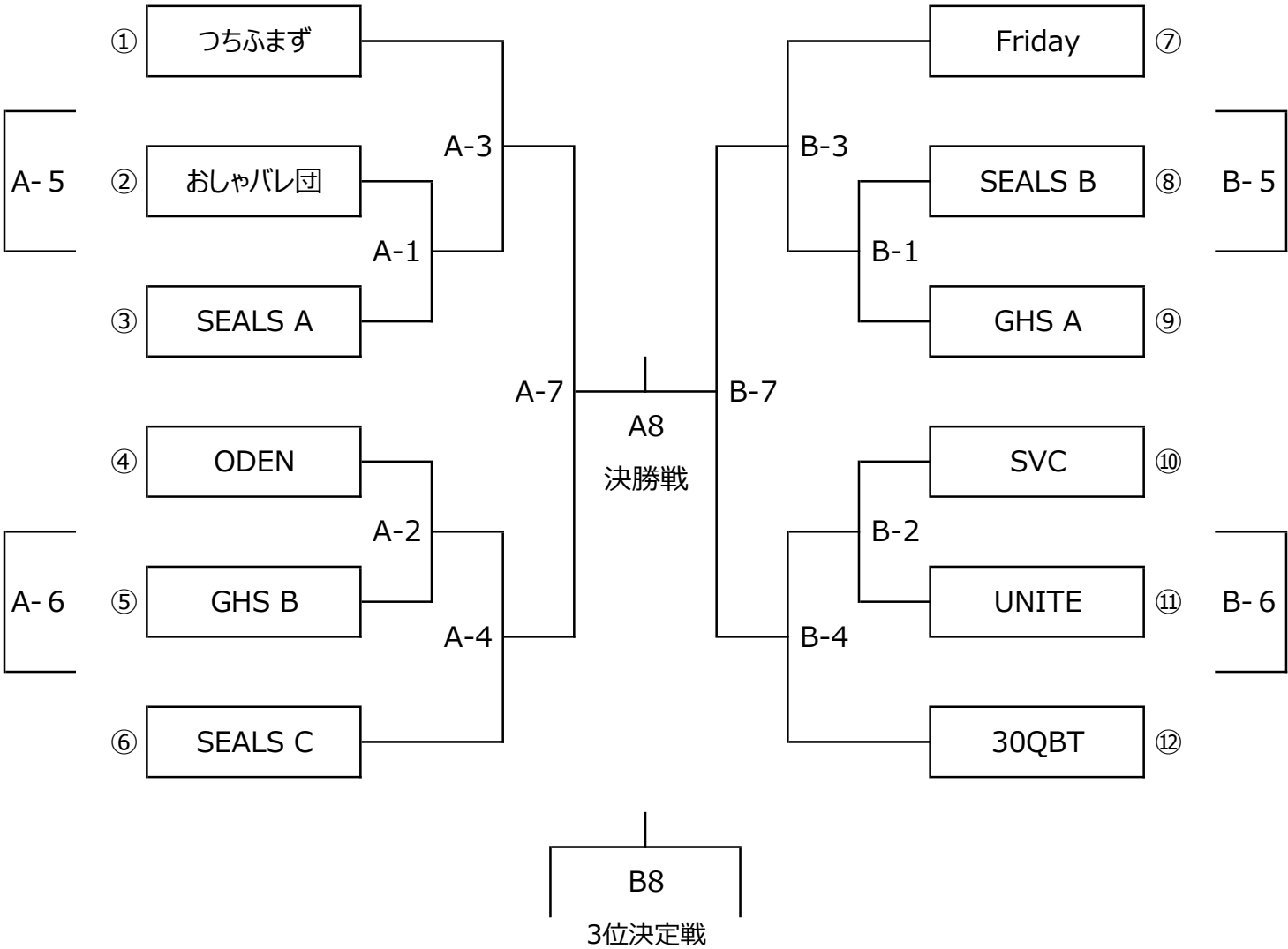


男女混合バレーボール大会

開催日 : 2025年11月16日(日)
開場 : 開館 8時30分、受付 9時00分、代表者会議 9時15分
: 試合開始9時30分の予定
会場 : 石巻地区体育館

～ 組合せ ～



1位	
2位	
3位	
4位	

<試合方法>

- 1 2025年度JMVA日本混合バレーボール連盟制定の競技規則及びローカルルールに基づき行います。
 - ① 次頁にJMVAルール添付、但し、斜線部分は今回不採用とする。
 - ② 赤字記載がローカルルール
 - ③ ①②以外は、JVA6人制競技規則に準じる。
- 2 試合球は、協会よりLMVAの公式球を準備（各コート1個）します。
- 3 組合せは、トーナメント方式（上記参照）で行います。
優勝、準優勝、3位のチームを表彰します
A-5,A-6,B-5,B-6は敗者戦です
- 4 21点先取、2セットマッチ、ジュースなし
同セットの場合は、得失点で勝者を決める。
決勝戦、3位決定戦は、21点先取、3セットマッチ、ジュースあり
但し、時間制限あるため変更する場合がある
- 5 公式練習は、各チームの1試合目のみ
- 6 試合間は原則10分とする。但し、連続する場合は15分とする。
- 7 給水タイムは設けない
- 8 審判
A-1は、A-3のチーム、B-1は、B-3のチーム
以降は敗者のチームが審判を行う
6名ギリギリの場合は、主審1、副審1、線審2ないし3、点示1で行う
決勝戦の審判は、A-7の敗者、3位決定戦の審判はB7の敗者で行ってください。
- 9 ホイッスルは各チームで準備してください。
ない場合は、協会より貸し出しますので申し出てください。
- 10 ビデオ・動画の撮影は、代表者会議にて各チームに確認し、同意を得たうえで撮影すること
- 11 土足禁止ですので上履き下履きの履き替えを確り行ってください。
- 12 体育施設内は、禁煙となっていますので喫煙される方は、My灰皿をもって体育施設外で喫煙してください。
- 13 昼食時間は、設けませんので各チームの空き時間を利用して昼食を済ませるようにしてください。
体育館内は、飲食禁止ですのでロービーの空きスペースで昼食をとってください。
- 14 チームで出したごみは、チームで持ち帰ってください。
- 15 各チームより設営のお手伝い（2名/各チーム；8時入館できます）をお願いします。
早く設営出来れば早く試合開始できます。

以上

JMVAルール

下記の JMVA ルールを採用し、下記以外については JVA6人制競技規則に準拠します。

1 ネットの高さ

ネットはセンターラインの上に垂直に設置し、上端の高さは 2.24m である。

2 ボール

ボールは日本混合バレーボール連盟公認球を使わなければならない。

円周 : 65~67cm (5 号球)

重さ : 240±10g

内気圧 : 300±10hpa

3 チームの構成

1. 試合のために1チームは 14人までの選手と、さらに次のスタッフで構成することができる。

※ 監督、コーチ、マネージャー各1人

監督、コーチ、マネージャーは審判から見える位置にワッペンを着用しなければならない。

受付用紙又は指定の選手名簿に記入された選手、監督、コーチ、マネージャーがベンチに入ることができ、その選手はコートに入り試合でプレーすることができる。

2. 選手の1人が、チームキャプテンとなる。

3. 試合前、チームキャプテンはチームを代表してトスを行う。チームキャプテンの記録用紙へのサインは、試合終了後だけとする。

4. 監督のサインは、ラインアップシートの上にサインをする。

4 服装

選手の服装は、ユニフォーム上着、パンツ、スポーツシューズからなる。

1. ユニフォーム上着の色・デザインはチームで 2種類の範囲内で統一しなければならない。袖の長さは許容する

2. 番号は、00 又は 0 から 99 までの番号をつけなければならない。

3. 番号は、ユニフォーム上着の前後ともにつけなければならない。

4. 番号は、10cm~20cm 四方のものとしユニフォームの下地と番号が同色であってはならない。

5. 試合中にはがれる恐れのある番号は認めない。

6. ゲームキャプテンは、JMVA 公認キャプテン章を、審判から見える位置に着用しなければならない。

7. 原則パンツは、他の選手と同じ色でなければならない。デザインはワンポイントデザインの違いは許容するが、ラインが入っているパンツと入っていないパンツの違いは認めない。

8. ユニフォームの下に着用するアンダーウェアの色・デザインは問わない。

このルールは、2024 年度までとし、2025 年度からは JVA7人制競技規則に準拠する。

ユニフォームの着用は不要とするが揃えられるチームは着用可とする。

5 試合前後の挨拶

試合前はエンドラインに競技者は全員が並ばなければならない。その際にいない競技者はその試合に参加することは出来ない。試合後はエンドラインに試合終了時点でコートに立っている6人で整列し、ファーストレフェリーの吹笛後必ず相手チームに挨拶をしなければならない。

6 セット数と最大点数

基本的には、試合は1セットとし最低2点リードし、先に25点を得たチームが勝利する。24-24の同点(タイ)になった場合は、2点のリードが得られるまで続けられる。但し、34-34になった場合は、先に35点を得たチームが勝利する。試合が1セットの場合は、インターバルとコートチェンジは行わない。

21点の3セットマッチまたは2セットマッチ(チーム数により調整)、デウスなし

なお、決勝、3位決定戦は、デウスありとするが時間制限ため変更する場合がある

7 ウォームアップ

公式ウォームアップは行わない。各チームの1試合目は5分間、2試合目以降は3分間、両チーム合わせてウォームアップを行う。

公式練習は、各チーム1試合目のみ、それ以外は試合間(10分または連続する場合は15分)の合同練習

とする

8 ローテーション

- 1.いかなるときも1 チーム6人でプレーしなければならない。チームのスターティングラインアップは、コート上の選手のローテーション順を示し、男性・女性を交互とする男女交互ローテーションとする。この順番は、そのセットを通じ維持しなければならない。
- 2.ラインアップシートに誤り（男女比や交互になっていない、リベロの登録漏れ等）があった場合には、相手チームに1点付与し正しい位置に戻る。この場合サービスの移動は発生しない。
- 3.ラインアップシートを訂正しなくても試合を続けることができる場合は、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することは認められない。

ラインアップシートの提出は不要。但し、男女交互ローテーションは順守すること。

9 ダブルコンタクト

- 1 つの動作中であれば、ボールは身体の上さまざまな部分に連続して接触してもよい。

10 ジャンプサービス

- サービスヒットの瞬間、サーバーは両足又は片方の足がサービスゾーン内に触れていなければならない。また、（エンドラインを含む）コートやサービスゾーン外のフロアに触れてはならない。
- サービスヒット完了後、故意ではなく極めて短い瞬間、両足が地面から離れた場合は、サービスの反則としない。サービスゾーン外やコート内に踏み込んでよい。

11 バックプレーヤーのアタックヒット

- バックプレーヤーは、フロントゾーンの後方から、ネット上端より完全に高い位置にあるボールをアタックヒットしてはならない。この場合、アタックヒットの反則となる。

12 選手交代

- 選手交代は、1セットにつき1 回だけスターティングラインアップの同性の選手と交代し、試合に出ることができる。ベンチに戻る場合は、先に交代したスターティングラインアップの選手とだけ代わることができる。

例外的な選手交代

- 例外的な選手交代とは、リベロ、セカンドリベロ、またはリベロの入れ替え選手以外で、負傷、病気、退場、または失格の発生時にコートにいなかった同性の選手が、かわりに出場することをいう。この負傷、病気、または退場で交代した選手は試合に戻ることはできない。

~~13 リベロ~~

- 1.各チームは、試合毎にリベロを男女各2名、合計4名ラインアップシートに記入することができる。
- 2.試合中、3名のリベロが同時にコートに立つことができる。
- 3.リベロは、チームユニホームの上にJMVA公認のリベロビブスを着用しなければならない。
- 4.リベロは、バックのポジションの同性の選手と入れ替わることができる。リベロの再指名も同性とする。

14 罰則の追加

- 1.無作法な行為：良いマナーや道徳の反則に反した行為（試合中に故意にネットを掴んだり、故意にボールを蹴る等相手が不快に思う行為なども含む）
- 2.攻撃的な行為：実際の身体的攻撃、または攻撃的、威嚇的な行為（シューズでの外出、喫煙マナー、会場ルール等社会常識を守れない場合なども含む）